

2026
10 OCT.

TACHIKAWA HOSPITAL



NEWS NO. 88

2▶

立川病院第8回キッズセミナーを開催しました

4▶

立川医療・介護フェスに参加して

5▶

2026年度立川病院
市民公開講座

7▶

立川病院地域医療連携懇話会のご案内

立川病院 だより



病院外観

立川病院第8回 キッズセミナーを開催しました

診療部長 明瀬 祐史

7月25日（土）、「立川病院第8回キッズセミナー」を開催いたしました。当日は小学3年生から中学3年生までの子どもたちが、午前・午後それぞれ32名、あわせて64名参加してくれました。また、当日は総勢55名の職員がスタッフとして参加し、イベントを力強く支えてくれました。

片井院長による温かい開会の挨拶でスタートした本セミナーでは、医療の面白さや大切さを体感してもらうため、工夫を凝らした6つの体験ブースを用意しました。

① 「きみにもできる！はじめてのBLS」



これぞまさに本当にためになるブースであり、キッズセミナーには絶対に欠かせないプログラムです。いざという時に命を救う救急救命の手順や心肺蘇生法を学び、実践的な胸骨圧迫やAED（自動体外式除細動器）の使い方も真剣な表情で体験してもらいました。

② 「話題のロボット手術ってどんなの？」



実際に子どもたちに手術支援ロボット「ダヴィンチ」のサージョンコンソールに座ってもらい、操作アームを使って小さな輪っかをスパイクからスパイクへ移し替える体験をしてもらいました。どの子どもたちも非常に飲み込みが早く、直感的に上手に操作をこなしている姿がとても印象的でした。

③ 「腹腔鏡を使ってみよう」



立体的に見える3D内視鏡カメラの映像に驚きの声を上げ、腹腔鏡の鉗子（かんし）を使ってビーズを隣のお皿に移す作業にはさすがに苦戦していましたが、実際の手術でも使われる電気メスで鶏肉を切開する体験では、その本格的な感触と技術に深く感動していました。

④ 「放射線科のお仕事」



レントゲンやCTといった画像診断技術をテーマに、「放射線迷路」や画像を使った「中身当てクイズ」など、子どもたちが親しみやすく学べるよう工夫を凝らしたプログラムで大いに楽しませてくださいました。

5 「いつでも手洗い！ペットボトルとゼリー石鹸」



災害発生時に避難所へ避難することを想定し、感染から身を守るための手洗いの大切さを学びました。手作りのゼリー石鹸や、ペットボトルで作る簡易蛇口、新聞紙での簡易スリッパ作りにみんな真剣な表情で取り組むなど、防災と衛生を楽しく学ぶ企画で会場は大盛り上がりでした。

6 「今日からキミもナースの探偵団！」



患者役を務めた看護師の熱演に子どもたちの笑顔と歓声が弾ける中、「観察」をテーマに生体モニターの見方や聴診の仕方を学びました。なかでも点滴の速度調節の体験は、普段なかなか触れることのできない看護の技に触れる貴重な機会となったようです。

どのブースでも、担当した職員たちが専門知識や技術を分かりやすく伝えよう

と趣向を凝らし、熱意と笑顔あふれる指導を行ってくれました。その想いが子どもたちにもしっかりと届いたようで、閉会時には「時間が足りない」「もっとやりたかった！」という弾んだ声が次々と上がっていました。多忙な日常業務の合間を縫って、心のこもった素晴らしい準備と当日の運営に尽力してくれた総勢55名の職員の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

私個人の感想になりますが、毎年この日が一年の中で最も楽しみにしている日でもあります。医師、看護師、医療技術職、事務職など、普段は異なる部署で働く多様な職種が丸となり、「未来ある子どもたちを楽しませる」という一つの目標に向かって協力し合う姿には、毎回胸が熱くなります。このような素晴らしいチームワークと温かい志に触れるたび、「立川病院は本当に良い病院だな」と誇らしく思い、この病院で働く喜びを再確認させられます。

子どもたちの活気あふれる笑顔は、私たちにとっても明日からの大きな活力を与えてくれました。この一体感を大切に、来年もまた多くの職員と一緒に、さらに魅力的なキッズセミナーを作り上げていきたいと思ひます。



～立川市医療・介護フェスに参加して～

地域医療連携センター 風間 友子

2026年5月31日（日）、立川市主催・立川市医師会主管による「2026立川市医療・介護フェス」が開催されました。2024年の第1回に続き、JR立川駅・多摩モノレール立川北駅北側の「サンサンロード」での開催は今回が2回目となります。当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

立川市内の医療機関、訪問看護ステーション、薬剤師会、地域包括支援センター、立川市職員など約30団体が出展し、子どもから高齢者まで楽しめる多彩な企画が行われました。子ども向けにはスタンプラリーやじゃんけん大会が実施され、景品を受け取って喜ぶ姿が印象的でした。

当院からは4つのブースを出展しました。

①腎臓病相談コーナー

CKD（慢性腎臓病）および健診の啓発を目的に、透析看護認定看護師をはじめとする6N病棟看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士が担当しました。「聞いたことはあるが詳しくは知らない」という方が多く、血液データやeGFR低下への不安を抱える住民の方も一定数いらっしゃいました。相談後には、減塩・運動・血圧測定など生活習慣改善への意欲向上がみられ、「安心した」「相談できてよかった」といった声が寄せられました。

②自分らしく過ごすための排泄ケア相談

排泄に関する不安や困りごとの軽減を目的に、排泄ケア用品の紹介やおむつの体験を通じて相談を受けました。皮膚・排泄ケア認定看護師が担当し、便秘・下痢・便漏れなど排便に関する相談が多く寄せられました。医療・介護フェスということで高齢者を中心に想定していましたが、予想以上に子どもの参加が多く、次回は子どもや子育て世代も対象とした内容を取り入れたいと感じました。

③口腔機能を保つために自宅でできること

「いつまでも口から食べる」ことを支えるため、自宅でできる嚥下体操の紹介や嚥下調整食のパンフレットを用いた相談を行いました。摂食嚥下障害看護認定看護師が担当し、ご家族の介護における「飲み込み・食事・水分摂取の困りごと」など、介護に関する相談も多く寄せられました。

④認知機能セルフチェッカー

視線追跡型デバイスを用いたVRで認知機能の自己チェックを体験していただきました。毎年人気のブースで、認知症看護認定看護師、臨床心理士、MSW、地連事務が担当しました。高校生から90代まで幅広い年代の方が緊張しながらも楽しんで参加されました。「こんなふうに検査ができるのね」「緊張するけどやってみたい」「結果を見て安心した」「もの忘れ外来はどう受診すればいいの？」などの声が聞かれました。

どのブースも盛況で、市民の皆さんの健康意識の高さを改めて実感するフェスとなりました。来年も実施が決定しているので、その時はぜひ立川病院職員の皆さんも出展者として、また来場者としてご参加ください！



2026年度 立川病院 市民公開講座

4月22日（水） 下肢静脈瘤セミナー

**立川病院市民公開講座
下肢静脈瘤セミナー**

足にこぶこぶの血管がでてきたり、足にクモの巣のように見える細い血管が目立ってきたり、足がなるかたり、朝方に足がつったり、スネの皮膚炎が繰り返すようになったりしませんか？これらは下肢静脈瘤の症状かもしれません。

下記の日程で下肢静脈瘤のセミナーを開催します。セミナーの後、医師による相談を行います。お気軽にご参加ください。

日時 令和8年4月22日（水）午後2時～午後3時
場所：立川病院 トリアージ研修棟
定員：30名
講師：秋山芳伸
立川病院 血管外科部長

第一部 午後2時～午後2時30分
「セミナー：下肢静脈瘤とは」

第二部 午後2時30分～午後3時
「下肢静脈瘤無料相談会」

お申込み：042-524-2438 地域医療連携センター
または、二次元コードからお申し込みください

〔二次元コード〕



定員に達し次第締め切りとさせていただきますので、ご了承ください

足の血管のこぶやむくみ、だるさなどをテーマに、血管外科秋山部長による下肢静脈セミナーを開催しました。43名の参加がありました。

終了後は、個別相談コーナーを設けました。



〈参加者からの声〉

- * 医師に直接足のむくみをみてもらい、安心しました
- * これからも専門医によるセミナーを希望します



7月23日（木） じんぞう病を知ろう！

多職種が慢性腎臓病の治療や生活について解説し、50名近くの参加がありました。参加者からも活発な質問が寄せられました。

健康フェアでは専門・認定看護師による相談や情報提供を行いました。

市民公開講座も健康フェア
「健康長寿を目指して
～知って安心、学んで納得、病気のわはし～」
じんぞう病を知ろう！

誰でもなる可能性があるじんぞう病について
学びましょう！
じんぞう病と言われた方、そのご家族、じんぞう病に関心がある方、どなたでも参加できます！

参加希望の方は裏面に
登録ください！

2026年
7月23日（木） 14時～16時
（受付開始13時30分）
健康フェアは17時まで開催

会場
立川病院 トリアージ・研修棟
立川市錦町4丁目2番22号

★主催★
立川病院 地域医療連携センター
立川病院 看護部 リソースナース会

7月23日（木）
立川病院
外来患者駐車場内 トリアージ・研修棟
13：30 受付開始
14：00 講演 立川病院スタッフより

1. 慢性じんぞう病とは
2. じんぞうにやさしい日常生活
3. じんぞうのための薬
4. じんぞう病と運動
5. 透析になったら医療費は？
6. 塩分をおさえた食事

16：00～17：00
健康フェア
参加自由！
個別/情報提供コーナー

専門・認定看護師が
お困りごとなどの
ご相談を
お受けします！



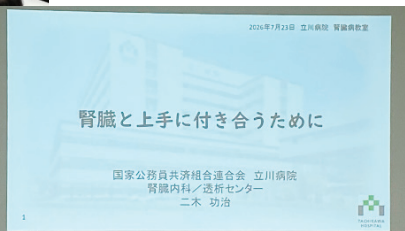
問合せ・申込み先
国家公務員共済組合連合会
立川病院
地域医療連携センター
☎ 042-524-2438
平日 9:00～17:00

お電話または、
2次元コードから
申し込みできます！



〈参加者からの声〉

- * 日常生活に役に立つ内容で参考になりました
- * 健康診断の採血の数値を確認し、健康作りに役立てたいです



次回のお知らせ 2026年10月29日（木）14時～15時
テーマ：お薬との上手なつきあい方
～ポリファーマシーを知ろう～



2026年度 立川病院 市民公開講座

立川市 共催



健康長寿を目指して

～知って安心、学んで納得、病気のはなし～

会場

立川市錦町4丁目2番22号 立川病院

外来患者駐車場内トリアージ・研修棟

第1回

~~4月22日（水）14:00～15:00~~

終了しました

~~「下肢静脈瘤セミナー」~~

講師 秋山 医師

第2回

~~7月23日（木）14:00～16:00~~

~~「じんどう病を知ろう」~~

講師 二木 医師

看護師 薬剤師 リハビリ 社会福祉士 管理栄養士

第3回

~~9月16日（水）10:00～11:00~~

~~「認知症はじめて講座」~~

講師 森武 医師

第2回、第3回には
看護師の相談・展示コーナー
があります

第4回

10月29日（木）14:00～15:00

「お薬との上手なつきあい方
～ポリファーマシーを知ろう～」

講師 小町 薬剤師

第5回

11月10日（火）14:00～15:00

「心不全にならないようにできること」

講師 影山 医師

第6回

12月18日（金）14:00～15:00

「肺の健康寿命
～疾患の予防と呼吸機能の鍛え方～」

講師 田中 医師



二次元コードからWEB申込、またはお電話からのお申込も可能です。

WEB申込はこちら！

問合せ・申込み先

国家公務員共済組合連合会

立川病院 地域医療連携センター

☎ 042-524-2438

平日9:00～17:00



報 告

立川病院地域医療連携懇話会を開催いたします

2026年11月17日（火）19時より、ホテルエミシア東京立川において「第26回立川病院地域医療連携懇話会」を開催いたします。

昨年度は229名の方々にご参加いただき、顔の見える貴重な意見交換の場を設けることができました。

今回も、昨年度に引き続き、着座形式での会場をご用意いたしましたので、立川病院各診療科医師及び、地域の先生方・多職種の方との交流を深めていただきたいと考えております。

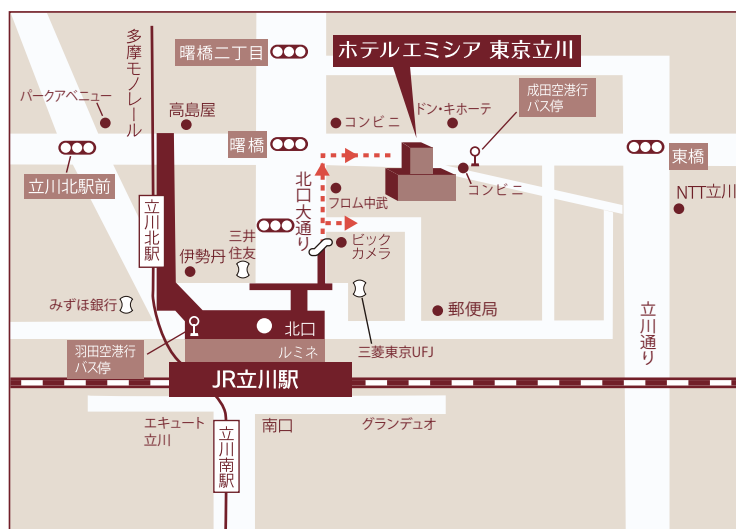
是非、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。
尚、詳細につきましては別紙にてお知らせさせていただきます。



地域医療連携センター

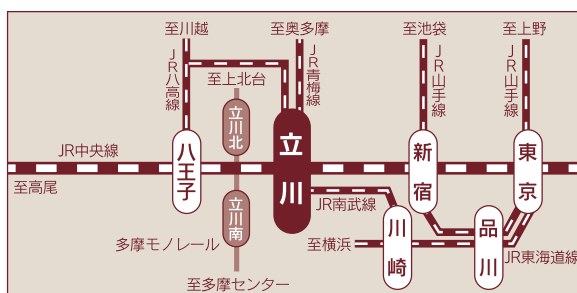
ホテルエミシア東京立川 アクセス

JR立川駅からの徒歩のご案内



電車の場合

- JR立川駅北口から徒歩 **2分**
- 多摩モノレール立川北駅から徒歩 **3分**
- JR中央線 新宿駅から38分/東京駅から51分/八王子駅から13分



お車の場合

当ホテル駐車場は地下にございます。
機械式普通車専用駐車場です。
先着順のご案内しているため予約は受け付けておりません。

収容規格：高さ 1.55m 長さ 4.8m 幅 1.75m

規格外のお車・満車の場合は近隣有料駐車場をご利用ください。

（料金はお客様のご負担となりますので予めご了承ください）



ご要望などございましたら、地域医療連携センターまで
ご連絡をお願いいたします。

国家公務員共済組合連合会 立川病院

〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22

TEL : 042-523-3131 FAX : 042-522-5784

ホームページアドレス : <https://www.tachikawa-hosp.gr.jp/index.html>

発行 : 令和8年10月1日 (年3回)
発行者 : 立川病院地域医療連携センター
編集者 : 片井均、風間友子

地域医療連携センター

TEL : 042-524-2438

FAX : 042-523-3160